

## ★2019年中国国際服務貿易交易会に参加★



5/28～6/1まで中国北京で開催された2019年中国国際服務貿易交易会に参加いたしました。「自由、イノベーション、スマート、融合」をテーマとして開催された大規模な交易会です。その中のプログラムで中関村天合国際優秀科技成果発表会にて、弊社の斎藤がこれまでの取り組みや新製品、水素に関するプレゼンテーションを行いました。水素ガスの活用に関心が高まる中国で、弊社の取り組みや水素発生器がお役に立てることが期待できそうです。



### 業新聞 (昭和51年6月8日第3種郵便物認可)

#### 連載 話題 追跡

ブームから2年で4割の縮小と厳しい環境下にある水素商材市場。その中であって、今期大きく市場を伸ばしそうな「水素ガス吸入器」。市場に登場したのは5～6年前と、他の水素商材に比べると歴史は浅いアイテムながら、2016年11月に厚労省の先進医療Bに水素ガス吸入療法が承認されたことで注目が高まり、新製品も続々登場。TV番組で放映される機会も増え、市場再興の切り札として期待される。

#### 20億円市場の「水素ガス吸入器」

水素ガス吸入器とは、本体で生成した水素ガスおよび、水素・酸素の混合ガスを、チューブ等を通じて鼻や口から吸入するアイテム。元々は大型装置が医療機関などで使用されていたが、2014年頃から一般市場でも流通が始まり、エステサ

とはいえ、一般消費者の間で「水素を吸う」という認知度はまだ低く、アスリートや芸能人など健康・美容に対する意識が特別高い層、病院のレンタルで自宅治療で使用している層など、一部の層が使用しているのが現状。本紙調査では、2018年の水素ガス吸入器の市場規模は20億円前後と、市場全体の1割程度だ。

こうした中で、水素ガス吸入器の市場拡大に向け、スポーツクラブ、病院などの一部の特約店での提供や、水素吸入専用サングラスの登場、徐々に認知度を高めようとしている。山形でも市場の後押しとなったのが、11月に水素ガス吸入療法が厚労省と承認されたこと。これを機に、医療機関への導入も進み、ヘルメックスジャパンやレピオス医学、アースエンジニアリングが展開する従来の大型装置に加えて、『KENCOS』や、『ラプリア エラン』のように小型から、ドクターズやゼロ、メンテナンスなどが主流の車上型まで、利用シーンに合わせたアイテムが誕生している。

水素市場再興の切り札に!?

「水素ガス吸入器がTVで取り上げられる機会も増えており、3月の学会で発表した。最近では、水素ガス吸入器がTVで取り上げられる機会も増えており、20日のテレビ東京の「Newsモーニングサテライト」では、前述のアクア社の取り組みが大幅に放映された。竹原社長は、今期の売上高は前年比で数倍増を見込むなど、水素ガス吸入器の主要各社のほとんどが今期の増収を期待している。既報の通り(1666号)、期の水素商材市場では6割の企業が伸びを見込んでおり、市場再興が期待される。その切り札として水素ガス吸入器の動向から目が離せない。

## 水素ガス吸入器が水素市場を盛り上げる！ 健康産業新聞より

2019年5月1日発行の健康産業新聞によると、ここ最近、水素ガス吸入器の認知度が高まってきている、ということです。エステサロンやスポーツクラブでの吸入サービスの提供をはじめ、水素吸入専門サロンも広まってきており、水素吸入は珍しいものではなくなっています。また、現在、大学や医療機関と共同でアルツハイマー病やがんの免疫療法としての有用性の研究を進めており、学会などでも発表されています。弊社の製品を導入したいという美容院やサロンなどの問い合わせも増えてきており、水素ガス吸入への関心の高まりを感じています。

#### 編集後記

1年の中でもっともさわやかな5月ですが、すでに真夏日が観測されました。いかがお過ごしですか。健康長寿を延ばすための3つの柱を「ご存じでしょうか。1.栄養食、口腔機能、2.運動身体活動、3.社会参加趣味・社会貢献」とのこと。そのような医療を受けるのかではなく、そのような日常生活を過ごせるかを再認識することが大切のことです。(田)

